「文学と社会：現代中国の現場から」～閻連科講演会

閻連科

日時：2016年11月6日（日）16:00～（開場15:30）

場所：21KOMCEE（コムシー）WEST地下1階レクチャーホール

講師①：王堯（文学評論家、蘇州大学教授）

文革文学の研究の他、同時代中国作家に関する評論多数。優れた閻連科論がある。

講師②：閻連科（作家、中国人民大学教授）

2014年フランツ・カフカ賞受賞。2015年twitter文学賞受賞（『愉楽』谷川毅訳）。2016年国際ブッカー賞最終候補（『四書』）。『丁荘の夢～中国エイズ村奇談』、『人民に奉仕する』は中国国内で発禁処分、『愉楽』は再版制限、『四書』（未邦訳）は中国国内で出版できず台湾で出版。中国の作家として、莫言に続くノーベル文学賞候補と目されている。2012年、領土問題で日中関係が緊張した際、ナショナリズムのために文学的交流が断絶することを憂えた村上春樹のエッセイに同調するエッセイを発表した。

プログラム

16:00　講演：①王堯　②閻連科

18:00　質疑応答

18:30　終了

司会：伊藤徳也（東京大学）

通訳：秋山珠子（立教大学）

協力：阿古智子（東京大学）

主催：東京大学TLP（トライリンガルプログラム）、東京大学比較文学比較文化研究室　　**連絡先：iton@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp（伊藤）**